ゲノム診療科
Department of Clinical Genomics

外来受付
1 階 01 番　　完全事前予約制
診療内容により保険診療の場合と自費診療の場合があります。
自費診療の場合、同日に他科 (保険診療) 受診はできません。

詳細はこちら

副院長、診療科部長、教授
すみ　としゆき
角　俊幸



専門
婦人科腫瘍

スタッフ

副
病院教授　せと　としゆき　**瀬戸　俊之**
【専門】 希少疾患・難病、遺伝性疾患全般

副
研究教授　やしろ　まさかず　**八代　正和**
【専門】 遺伝性腫瘍

特任教授　さかもと　ひろかず　**阪本　浩一**
【専門】 遺伝性難聴

講師　たはら　みえ　**田原　三枝**
【専門】 周産期関連、出生前診断

講師　きただ　こうへい　**北田　紘平**
【専門】 周産期関連、出生前診断

診療科の特徴

ゲノム診療科は遺伝子というキーワードで対応いたします。どのような疾患でも紹介や相談を受付させていただきますが、下記が当科の特色・特徴です。

1. 希少・難病疾患の診断：当院は国立研究開発法人日本医療研究開発機構のプロジェクトである「未診断疾患イニシアチブ (IRUD)」の拠点病院です。通常の医療の中で病気の原因が判明しない患者さんに、最新の遺伝医学を用いて診断を試みます。
2. がんゲノム医療：当院は厚生労働省よりエキスパートパネル実施可能がんゲノム医療連携病院に指定されています。「がん遺伝子パネル検査」では、得られた結果を基に治療法を模索します。また、検査結果や家族歴から「遺伝性腫瘍」の診断につながる場合があり、その後の定期検査のサポートを行います。
3. 他にも、NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査) や遺伝性難聴の診療も行っています。

ゲノム診療科では、診断のための診察や遺伝カウンセリングを行います。一定の結果が得られた段階で、原疾患のフォローアップのために紹介いただいたクリニックや病院の主治医の先生へフィードバックさせていただきます。

対象疾患

[主力疾患]
・ファブリー病　　・ゴーシェ病
・ムコ多糖症等のライソゾーム病全般　　・結合織疾患、骨系統疾患
・難治てんかん　　・重度の知的・発達障がいなど小児神経内科疾患
・染色体異常症　　・先天異常症候群　　・先天代謝異常症
・脊髄小脳変性症などの遺伝性神経疾患
・多発性内分泌腺腫症 I 型もしくは II 型
・遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC)
・家族性大腸ポリポーシス
・リンチ症候群やリ・フラウメニ症候群などの遺伝性腫瘍

[対応できる疾患]
・小児科から成人までの様々な希少疾患・難病に関する診断と遺伝カウンセリング
・様々な出生前診断に関する遺伝カウンセリング
・遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリング
・遺伝性難聴に関する遺伝カウンセリング

主な診療実績

希少疾患・難病（小児・成人）	254 件
遺伝性難聴	123 件
周産期	239 件
遺伝性腫瘍	216 件
遺伝性皮膚疾患	8 件

ご紹介時のお願い

初診予約は診療情報提供書 (診察予約申込書) に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へ FAX にてお申込みください。